

甲南第二小学校

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市 目標】
 ○「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
 ○「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
 ○いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】
 ○『こうか授業術』の徹底と、考えを深め合う協働的な学びの推進。
 ○学びのルールの徹底と環境づくりを深め、「学びたくなる学校」の創造。

【現状と課題】
 ○視点1 学習に対して受動的な児童が多い。その弱みを意識した授業改善が必要。自分の考えを持ち、書きまとめ、発信する力が
 必要。
 ○視点2 学級の雰囲気づくり、人間関係づくりはできているが、その反面、人間関係が固定化しがちで、学習場面でもダイナミックな
 学び合いにつながりにくい面がある。
 ○視点3 単学級であるため、教師も授業参観や学び合いがしにくい環境である。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって 取り組む学校づくり
【取組事項】 ○「こうか授業術」を柱とした主体的・対話的で深い学びの促進 ・ゴールを明確にした単元・授業の展開 ・意欲をつなぐ振り返りの充実 ・漢字や計算の基礎学習とキーワード作文や定型作文、200字作文の継続実施 ・家庭学習(予習)の奨励 ・基本的生活習慣の見直し(家庭との連携)	【取組事項】 ○自尊感情を高める学級づくり・学習基盤づくり ・学びのルールを徹底し、全校統一した学習形態。(こうか授業術の更なる徹底) ・肯定的な関係を進める学級活動・学級づくりの推進(ころぼかほかタイムの実施)	【取組事項】 ○本校児童の学ぶ力における課題を明らかにし、取組を具体化し、共通実践を図る。 ・OJTで指導案検討会を行い、チームで授業を考え、教職員の授業力向上を図る。 ・「学習環境部」で学びの軌跡が蓄積できるような掲示等、学びを楽しむ環境づくりに努める。 ・研究の方向性や研修会で学んだ情報、研究授業の成果などを共通理解・共通実践につなげる。

その他 取組事項
 ○感性を磨く豊かな体験活動の実施
 ・青い目の人形学習と新田学習の推進 ・人や未来へつなぐ地域学習・キャリア教育の推進

取組の評価				
※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。				
	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		【全国学力学習状況調査、学びの基礎チャレンジ】県平均に近づける。県との比較を5ポイント以内にする。		
視点1	○「こうか授業術」を柱とした主体的・対話的で深い学びの促進	・毎学期に子どもアンケートを行い、成果を確認する。(授業が楽しくてわかりやすいの肯定的評価を90P以上に) ・漢字音読名人の進捗、達成率を図る。 ・家庭学習について毎学期に子ども・指導者アンケートを行い、成果を確認する。(家で進んで学習しています85P以上に) ・ノーマディアデー・タイムを啓発し、毎学期に子ども保護者アンケートを行い成果を確認する(肯定的な回答を60%以上に)		
視点2	○自尊感情を高める学級づくり・学習基盤づくり	・QUテストで成果を確認する。(「クラスでみんな仲よく協力8、人と色々なことをするのが楽しい9」のポイントを85P以上に) ・ころぼかほかタイムの実施状況の確認検証を行う。(学校評価(自己評価)における「肯定的な関係を進める学級活動・学級づくりの推進」の肯定的な回答を80%以上に)		

視点 3	○本校児童の学ぶ力における課題を明らかにし、取組を具体化し、共通実践を図る。	【学校評価(自己評価)】 ・「意欲をつなぐ振り返りの実施」の肯定的な回答を80%以上に ・「ゴールを明確にし、継続・挑戦できる学習の提供」の肯定的な回答を80%以上に		
その他	○感性を磨く豊かな体験活動の実施	【学校評価(自己評価)】 ・「地域資源や人材活用に取り組み、地域学習やキャリア教育の推進を図れたか」の肯定的な回答を80%以上に		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

今年度の取組の課題
